

NPOと行政の 協働事業自己チェックリスト

[企画立案期]

試作品

このチェックリストは、
「市民と行政」が行う「協働事業」を
「事業を立案し、中心的に関わろうとしている人」が、
事業の企画を始める前の「企画立案期」に
「セルフチェック」を行うためのシートです。

所属組織名称：

記入者氏名：

記入年月日

協働事業の名称：

■はじめに

以下のチェックリストの設問を読み、現在、行われていると思うものには はい、
行われていないと思うものには いいえ、わからないものには ? を選び、回答を
○で囲み（データに直接入力の場合は、 内を灰色で塗りつぶす）、チェックしてください。

I. 協働の大前提

1. 事業の公益性と行政関与の妥当性

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業は、広く、不特定多数の市民に資するもの、あるいは地域の課題解決や社会変革に役立つものであり、必要とされているにも関わらず、現在、地域で行われていないが、あるいは提供が困難となっている事業ですか？

[ビジョン]

2. 協働の妥当性

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業は、行政と市民との協働でなければできない、あるいは協働で行うことにより、効果が増すことが期待できる事業ですか？

3. 協働方法の検討

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業にとって最適と思われる協働の形態 [委託・補助・助成・共催・協力・実行委員会・その他] を、協働する上でパートナーと考えられる相手と話し合う機会や場を持っていますか？

[希望する協働の形態]

4. パートナーの選択

行おうとしている事業を効果的に実施する上で、事業に必要となる知識や経験、能力、実績を有している人や組織、連携できそうな機関を把握し、適切なパートナーを選定することが必要です。

また、パートナーを選ぶ上で、プロセスの透明性を確保することが重要です。

① 選択の理由 [選択基準・審査基準]

はい	いいえ	?
----	-----	---

[発案当初から決まっている場合] パートナー選択の理由は明確であり、公開されていますか？

[決まっていない場合] パートナーを選ぶ基準があり、公開されていますか？

② プロセスの透明性

はい	いいえ	?
----	-----	---

パートナーの選択から決定までのプロセスが公開されていますか？

上記「はい」と答えた合計	
--------------	--

II. 事業の前提

1. 事前のニーズ調査と事業の期限設定

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業について、この事業の受益者となる人たちに対応した適切な事業計画を立てるために、事前に受益者と思われる人たちと話し合うなど情報収集に努め、行政関与が必要な期間や状況が関係者間で検討され、共有されていますか？

2. 目的の明確さと共有

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業の目的が明確となっており、事業全体の指針として意識され、関係者間で共有されていますか？

[事業の目的]

3. 成果目標の明確さと共有

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業の成果目標が明確となっており、事業全体のゴールとして意識され、関係者間で共有されていますか？

[事業の成果目標]
[予定される成果の帰属]

4. コスト負担と共同管理

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業に必要な資源(人・物・予算・情報)を話し合い、それぞれが提供や調達の役割を担うなど、提供された資源を共同で管理し、持ち寄ったものを大切に最大限に活用する方法を検討していますか？

5. 事業計画書・収支計画書の共同作成

はい	いいえ	?
----	-----	---

行おうとしている事業の事業計画や収支計画を、互いに話し合いながら、作成していますか？
あるいは、共同で作成を予定していますか？

上記「はい」と答えた合計	
--------------	--

Ⅲ. 事業実施の前提

1. 当事者性の自覚

はい	いいえ	？
----	-----	---

お互いが“当事者”としての自覚を持って、事業実施にともなう業務や費用を分担し、予想外に負荷がかかる場合については、一方的に責任を押し付けず、両者で話し合いの上、負担の軽減や変更など柔軟な対応を図っていく体制はありますか？

2. 意思決定のあり方

はい	いいえ	？
----	-----	---

お互いに相手の意思を尊重した合意形成に基づく意思決定の方法を検討し、速やかに意思決定を行える体制をつくるべく、話し合っていますか？

3. 対等 [自立性・自律性・自発性]

はい	いいえ	？
----	-----	---

お互いに依存することなく、事業実施に主体的かつ積極的に取り組む姿勢でのぞみ、お互いの立場を理解し、対等と思える関係を話し合いによって築くことに努めていきますか？
また、責任分担についても明確になっていますか？

4. コミュニケーションと合意形成

はい	いいえ	？
----	-----	---

お互いに事業に関わる情報を提供し合い、事業の方向性の確認や事業内容の変更について意見を交換するなど、必要と思えることをいつでも話し合える手段を持ち、また、機会や場をつくるなどして合意形成に努めていきますか？

5. 役割分担

はい	いいえ	？
----	-----	---

行おうとしている事業を効果的に実施する上で、必要となる資源(人・物・予算・情報)を話し合い、それぞれが適切な役割とそれに見合う負担をするなど、適した役割を責任持って担う準備がありますか？

上記「はい」と答えた合計	
--------------	--

■集計

以下の協働事業自己チェックリストの集計は事務局担当者が行います。

(1) 事務局担当者は、集計結果をチェックリスト記入者全員に配布してください。

(2) 集計シートの小項目で「はい」が多い・少ないのは、共通認識ができていないか、あまり共通認識となっていないかの度合いを表します。

認識できている小項目と認識されにくい小項目を確認します。

認識されにくい部分については、各責任者【*】から全員に説明を行った上で、認識のすり合わせができるように話し合ってください。

【*責任者】大項目Ⅰ・Ⅲに関しては組織のリーダー、Ⅱはプロジェクトリーダー、
役割を兼任している場合は、あえて分けて説明していただくことはありません。

協働事業自己チェックリスト 集計シート

記入者数N=

項目	小項目	記入者数N=			合計
		はい	いいえ	?	
Ⅰ. 協働の前提	1. 事業の公益性と行政関与の妥当性				
	2. 協働の妥当性				
	3. 協働方法の検討				
	4-①選択の理由 [選択基準・審査基準]				
	4-②プロセスの透明性				
Ⅱ. 事業の前提	1. 事前のニーズ調査と事業の期限設定				
	2. 目的の明確さと共有				
	3. 成果目標の明確さと共有				
	4. コスト負担と共同管理				
	5. 事業計画書・収支計画書の共同作成				
Ⅲ. 実施の前提	1. 当事者性の自覚				
	2. 意思決定のあり方				
	3. 対等 [自立性・自律性・自発性]				
	4. コミュニケーションと合意形成				
	5. 役割分担				